

吸排気弁 HS-5 メンテナンス手順書

この手順書は、吸排気弁 HS-5(以下、吸排気弁)のメンテナンス方法を説明した手順書です。メンテナンスを行なう前に最後まで読んでいただき、内容を理解してから作業をはじめてください。

- メンテナンスには、モータレンチ、マイナスドライバーが必要です。
- メンテナンス終了後は、充水状態で外部への漏水がないことを確認してください。

メンテナンス手順 1

充水状態で吸排気口から外部への漏水が発生している場合は、吸排気口に異物が噛み込み漏水しています。この場合は、次の方法でメンテナンスを行ってください。

(1) 吸排気弁を配管から取り外す

- ①吸排気弁直下の止水栓を閉栓します。
- ②吸排気弁の排気キャップとドレン配管を外します(写真 1)。
- ③吸排気弁を配管から外します。

吸排気弁を外す際は、弁箱の 8 角部に工具を掛けてください。8 角部以外の部分にパイプレンチなどの工具を掛けると破損・変形の原因となります。また、取り外し時に落とさないよう注意してください。

(2) 内部洗浄

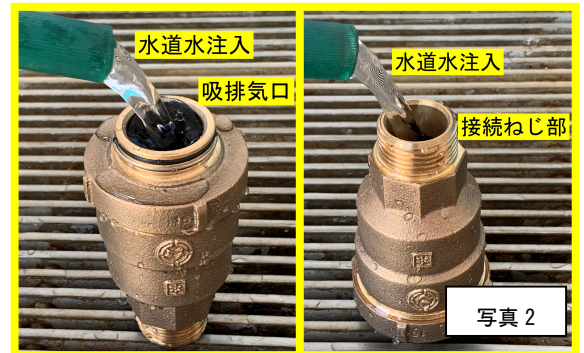
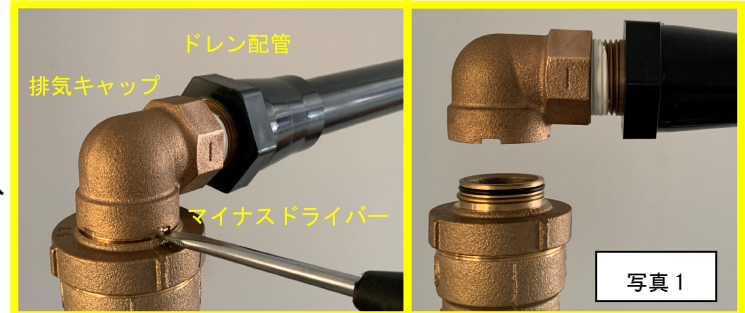
- ①取外した吸排気弁の吸排気口から水道水を注入し、内部を洗浄し、異物を洗い流してください(写真 2)。
- ②接続ねじ部側からも水道水で内部を洗浄してください。

(3) 吸排気弁の取付け

洗浄が終了した吸排気弁を配管に接続します。接続ねじ部は清掃し、シール剤等の異物が残らないようにしてください。内部に異物を落とした場合は、異物を取り除いてください。異物を放置すると再び異物噛み込みを起こします。

(4) 漏水の有無確認

- ①吸排気弁直下の止水栓をゆっくり開栓します。
- ②充水後、吸排気弁から漏水のないことを確認してください。
- ③漏水がないことを確認後、吸排気弁に排気キャップとドレン配管を取付けてください。

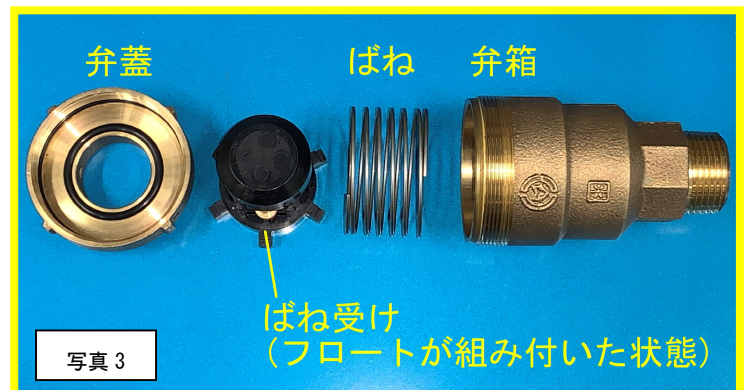


よくある異物の例
シールテープ片
内面ライニング鋼管から欠けた塩ビ片
硬化した塩ビ管用接着剤
鉄粉(大抵錆びている)
砂
など

メンテナンス手順 2 (漏れ量が多い場合)

メンテナンス手順 1 を行っても漏水が解消されない場合や漏れ量が多い場合は、吸排気弁の内部部品に異物・スケール等が付着している恐れがあります。次の手順で内部部品を洗浄してください。

(1) 吸排気弁を配管から取り外す(手順 1 と同じ)。



(2) 分解

- ① 弁箱 8 角部と弁蓋レンチ掛けに工具を掛け、弁蓋を外します。
- ② 弁箱からばね受け、フロート、ばねの順に取り出します(写真 3)。
取り出した部品は落とさないように注意してください。落下は破損、漏水の原因となります。また、部品の紛失に注意してください。

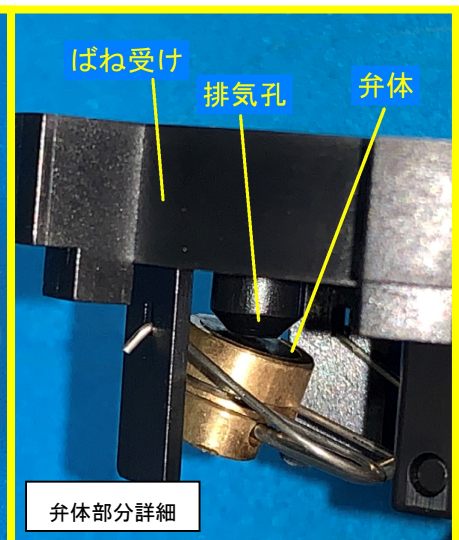
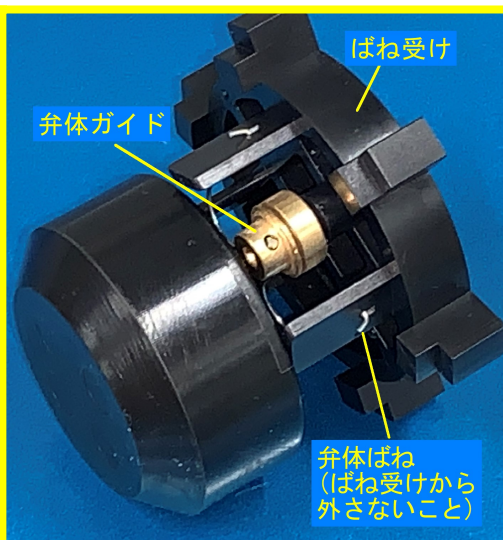
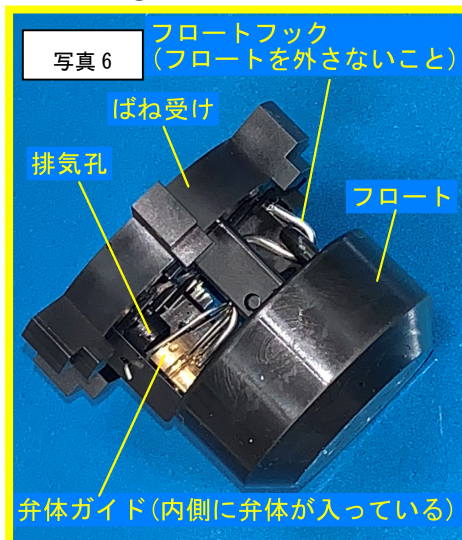
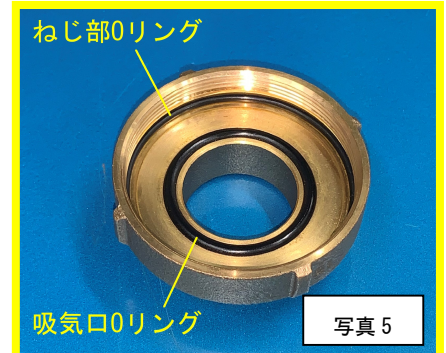
(3) 部品の洗浄

以下の部分について、傷を付けないように注意しながら洗浄します。

- ① 弁箱: O リングの止水部(写真 4)。
- ② 弁蓋: 吸気口 O リング、ねじ部 O リング(写真 5)。
- ③ ばね受け・弁体: 吸気口の O リング止水部(写真 4)。
: 弁体と排気孔の止水部(写真 6)。
- ④ ばね: 伸ばさずに洗浄する。

(4) 樹脂・ゴム部品の傷の有無を確認

- ① 弁蓋の O リング(2 本)に傷がないこと(写真 5)。
- ② ばね受けの O リング止水部(写真 4)。
- ③ ばね受けからフロート、弁体は外さないでください。



(5) 組立

- ① 弁蓋に止水用 O リングが付いていることを確認します(写真 5)。
- ② ばねを弁箱に入れ、ばねの上にはばね受けをのせて、弁箱に弁蓋を取り付けます。

(6) 吸排気弁の取り付け(手順 1 と同じ)

(7) 漏水の有無確認(手順 1 と同じ)

前澤給装工業株式会社